



すえちゃん

# しりょうかんだより



どうたくん

No.16

郷土資料館ニュース!!：2007年度4～9月活動報告 資料館では、こんな活動をしています。

資料館ですぐす「こどもの日」 4月28日(土)～5月6日(日)



市民から寄贈された五月人形を展示しました。こどもたちは明治～昭和初期につくられた豊臣秀吉や武田信玄などの武者人形をめずらしそうに見ていました。28日には「よろい<sup>よろい</sup>をきてみよう!」を開催し、鎧かぶとを身にまとい武士の気分を味わいました。

縄文土器作りに挑戦しよう!

6月2日(土)安城市埋蔵文化財センター岡安雅彦氏を講師に招き、縄文土器作りを開催しました。先生に教えていただきながら、真剣なまなざしで土器を作りあげました。23日(土)は、乾燥させた土器を野焼きしました。完成した土器をもったみんなの満足げな笑顔が素敵でした。



夏休みこども月間 8月1日(水)～31日(金)



「郷土資料館を探検して歴史にふれてみよう」を開催しました。暑いにもかかわらず、汗をかきながら火起し機をつかって火をおこしたり、展示をみてクイズに答えたりと歴史体験を楽しみました。また史跡めぐり、古代の布づくり、まがたま作り、土偶づくり講座を開催しました。古代の布づくりでは、縄文・弥生時代の布を織りました。古代の人が布を織るのにどんなに大変だったか身をもって体験していました。とても素敵な布を織りあげることができました。



## 知ってる?! とよたのれきし

### 「山の上にお城が!」



市場城の石垣

豊田市内には、川ぞいの切立った山や道沿いの山の上にお城がたくさんこっています。これらのお城は、室町時代や戦国時代など戦いの多かった時代のもので、武将が住むためより、戦いのためのものでした。城には「くるわ」と呼ばれる平らな場所がいくつかあり、そこに建物が建て<sup>どるい</sup>ていたと考えられています。くるわとくるわの間には土塁(土の壁)があったり、石垣がめぐらされていたり、わざと道が狭められていて敵が攻めにくい構造になっているもの

もあります。また遠くの状況が見渡せる場所に物見台(見張り台)があったり、敵が攻めてくると水をためる場所のある城もありました。山の上に城を作ったのは、遠くを見渡せて敵の動きがよくわかることと、山の斜面を利用して城を作るので攻めにくい城ができるからでした。

豊田市の史跡に指定されている山城には「市場城<sup>いちばじょう</sup>」(小原地区:市場町)、「大給城<sup>おぎゅうじょう</sup>」(松平地区:大内町)、「松平城山城<sup>まつだいらじょうやまじょう</sup>」(松平地区:大内・豊松町)などがありますが、史跡に指定されていない小さな城もたくさんあります。それぞれの地域の城を調べてみると、意外な発見があるかもしれません。



大給城<sup>おぎゅうじょう</sup>  
〔土塁と虎口(狭く作られた入口)〕

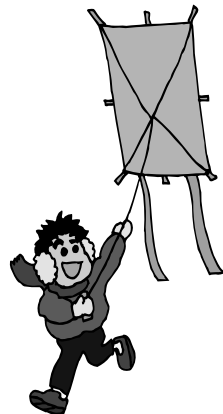
おかしのあそび
—お正月の遊び・凧揚げ—

正月の男の子の代表的な遊びは凧揚げ、独楽まわしでした。凧揚げはもともと、年の初めに両親が男子の出生を祝い、その無事な成長を祈る儀礼として行われていました。また、子どもにとっても、願いごとを凧に乗せて天に届けるという意味もありました。

凧は平安時代に中国から伝わりましたが、一般庶民のあいだで盛んになったのは江戸時代のことで、全国各地にさまざまな凧が生まれました。凧の呼び方も地方によって異なり、東京では「たこ」、関西では「いか」、長崎では「はた」、東北では「でんぐばた」などと言われていました。

また空に高く揚げるだけでなく、風に鳴りひびかせてうならせたり、ほかの凧にからみつけて糸を切るけんか凧などさまざまな遊び方があります。

みなさんも凧揚げをして外で遊んでみてはいかがでしょうか。



民 具

M I N G U

ふるい・とおし

ふるい・とおしは、木の薄板を曲げてつくった枠に網をはって穀物を入れ、細かくゆするようふるって網目の大きさと穀物をその他のものと分ける道具です。目の細かいものを「ふるい」、目の粗いものを「とおし」と呼び区別する地域もありますが、ほとんど同じものです。分けたいものによって目の大きさが違い、籾どおし、米どおし、麦どおしなどといわれています。調理用の粉をふるうものもあります。また網の枠を取り替えることでふるうものを分けられる「万石どおし」(写真下)という機能的なふるいもあります。



ふるい



万石どおし

これからの郷土資料館こども行事

冬休みこども週間 12月22日(土)～1月6日(日)

こままわし、羽子板、ふくわらいなどむかしながらのお正月遊びを体験することができます。また、花もちづくり、ミニ門松づくり講座を開催します。

郷土資料館のひなまつり 2月2日(土)～3月2日(日)

寄贈された雛人形を展示します。おひなさま巡り、おこしものづくり講座を開催します。

春休みこども週間 3月22日(土)～4月6日(日)

投扇興、竹てっぽう、貝あわせなど昔の遊びを体験することができます。

盛りだくさんの内容です。ぜひ、資料館にあそびに来てください。

しりょうかんだより No.16 平成19年11月28日発行

編集・発行:豊田市郷土資料館(〒471-0079 豊田市陣中町1-21 でんわ:0565-32-6561)

URL <http://www.toyota-rekihaku.com>

E-mail [rekihaku@city.toyota.aichi.jp](mailto:rekihaku@city.toyota.aichi.jp)

郷土資料館は、みなさんが住む豊田市の歴史を紹介、大事な資料の収集、遺跡の発掘調査などを行っています。